

令和7年度 消防設備士試験 試験案内



一般財団法人 消防試験研究センター 鳥取県支部

〒680-0011 鳥取市東町1-271 県庁第二庁舎8階

TEL 0857-26-8389

FAX 0857-24-1052



ホームページアドレス(<https://www.shoubo-shiken.or.jp/branch/31tottori/>)

消防法（昭和23年法律第186号）第17条の9第1項の規定により、一般財団法人 消防試験研究センター（以下「当センター」という）が鳥取県知事から委任された消防設備士試験を次のとおり実施します。

《ご注意ください。》

- ・試験案内は最後までよく読んで、記載されている内容に同意した上でお申し込みください。
申し込まれた方は、試験案内に記載されたすべての事項に同意されたものとみなします。
- ・会場等の都合により、受験地及び試験日の変更等をお願いすることや試験会場の収容人数を越える場合に受付期間内であっても受付を締め切ることがありますのであらかじめご了承ください。（受付を締め切った場合は、当支部のホームページに掲載します）

1 試験日程・受験願書の受付期間・合格発表予定日

（書面申請、電子申請ともに受付期間は同じ。）

回	試験日	受験地	受付期間	合格発表予定日
第1回	令和7年7月20日(日)	倉吉市	令和7年5月20日(火)～5月30日(金)	令和7年 8月25日(月)
第2回	令和7年11月23日(日)	鳥取市 米子市	令和7年9月16日(火)～9月25日(木)	令和8年 1月9日(金)

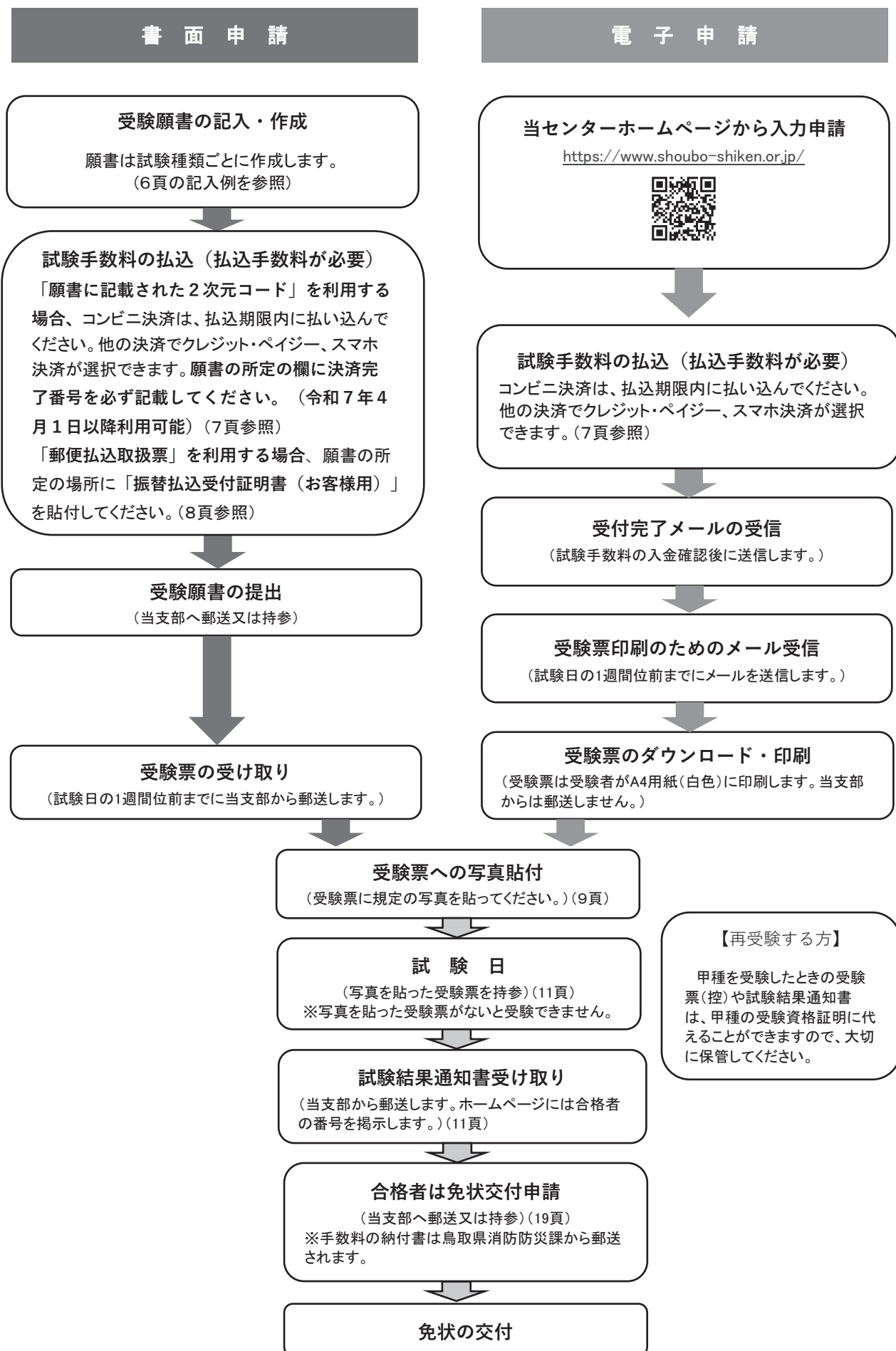
2 集合時間及び試験開始時刻

	試験の種類	集合時間	試験開始時刻
午前	甲種4・5類 乙種1・2・3・4・7類	9時05分	9時35分
午後	甲特類,甲種1・2・3類 乙種5・6類	13時30分	14時00分

〔注意事項〕

- (1) 受験願書の申請方法は、書面申請（願書による受験申請）と電子申請（インターネットからの受験申請）の2通りがあります。具体的な手続きは、5頁の「11 申請手続」をご覧ください。
- (2) 受付時間 書面申請（窓口）：9時から17時まで（土日、祝日、年末年始を除く）
〃 （郵送）：受付期間最終日の消印まで有効
電子申請 ：受付初日9時から最終日23時59分まで（24時間対応）
（注）期限を過ぎて提出された受験願書は受理できません。
郵送の場合、不着事故を防ぐために、特定記録郵便又は簡易書留郵便の利用をお勧めします。
- (3) 試験会場
試験会場は、当センターで決定し受験票に明記します。
※主な会場（予定）
鳥取県庁*、とりぎん文化会館、エースバック未来中心、倉吉体育文化会館、米子コンベンションセンター、鳥取職業能力開発促進センター米子訓練センター（ポリテクセンター米子） など
・いずれも駐車場はありますが、他の行事と重なることもあり、十分ではありませんのでご注意ください。
*鳥取県庁会場付近案内図（出入口）は18頁をご覧ください。
- (4) 事故等により会場や日程を変更する場合には、緊急情報としてホームページに掲載します。
特に、気象庁が発表する特別警報等の防災情報に対処して試験日時を変更する場合の緊急情報は、試験開始時間の2時間前までに掲載します。
- (5) 試験当日は注意事項等の説明をしますので、試験開始30分前までに試験会場に集合してください。

3 受験申請手続きから合格後の免状交付申請手続きまでの流れ



4 試験の種類

甲種と乙種があり、甲種は対象設備等の「工事、整備、点検」ができ、乙種は「整備、点検」ができます。

免状の種類		工 事 整 備 対 象 設 備 等 の 種 類
甲 種	特 類	特殊消防用設備等（従来の消防用設備等に代わり、総務大臣が当該消防用設備等と同等以上の性能があると認定した設備等）
甲 種 又は 乙 種	第 1 類	屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、水噴霧消火設備、屋外消火栓設備、パッケージ型消火設備、パッケージ型自動消火設備、共同住宅用スプリンクラー設備
	第 2 類	泡消火設備、パッケージ型消火設備、パッケージ型自動消火設備、特定駐車場用泡消火設備
	第 3 類	不活性ガス消火設備、ハロゲン化物消火設備、粉末消火設備、パッケージ型消火設備、パッケージ型自動消火設備
	第 4 類	自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、消防機関へ通報する火災報知設備、共同住宅用自動火災報知設備、住戸用自動火災報知設備、特定小規模施設用自動火災報知設備、複合型居住施設用自動火災報知設備
	第 5 類	金属製避難はしご、救助袋、緩降機
乙 種	第 6 類	消火器
	第 7 類	漏電火災警報器

5 受験資格

- （１）甲種消防設備士試験には、一定の受験資格が必要です。
 詳しくは、12 頁「1 8 甲種受験の資格及び証明書類」をご覧ください。
 （２）乙種消防設備士試験には、受験資格はありません。

6 試験科目、問題数及び試験時間

種 類		試 験 科 目	問題数	試験時間
甲 種 特 類	筆 記	①消防関係法令	15 問	2 時間 4 5 分
		②工事整備対象設備等の性能に関する火災及び防火に係る知識	15 問	
		③工事整備対象設備等の構造、機能及び工事又は整備の方法	15 問	
甲 種 (特 類 を 除 く)	筆 記	①消防関係法令	15 問	3 時間 1 5 分
		②機械、電気に関する基礎知識	10 問	
		③受験に係る消防用設備等の構造・機能及び工事・整備の方法	20 問	
	実 技	④受験に係る消防用設備等に関する鑑別等	5 問	
		⑤受験に係る消防用設備等に関する製図	2 問	
乙 種	筆 記	①消防関係法令	10 問	1 時間 4 5 分
		②機械、電気に関する基礎的知識	5 問	
		③受験に係る消防用設備等の構造・機能及び整備の方法	15 問	
	実 技	④受験に係る消防用設備等に関する鑑別等	5 問	

（注）甲種特類の試験には、実技試験、科目免除はありません。

7 試験手数料 【一旦払い込みされた試験手数料は、お返しできません。】

試験手数料は下記のとおりです。

（消費税非課税）

甲 種	乙 種
6, 6 0 0 円	4, 4 0 0 円

8 試験の一部免除と申請（甲種特類を除く）

消防設備士、電気工事士、電気主任技術者、技術士等の資格を有する方は、申請により試験の一部が免除され、試験時間が短縮されます。なお、2つ以上の資格を有する方は、それぞれ資格ごとに申請できます。

一部免除の申請は、受験願書の「試験の免除」欄の「受ける」か「受けない」かのいずれかに必ず○を記入し、その意志を明確にするとともに、資格を証明する書類を受験願書裏の貼付欄にのり付けしなければなりません。

（1）消防設備士免状の所有者

3頁「6 試験科目、問題数及び試験時間」の筆記試験のうち、所有する免状の種類と受験する種類によって、次表のように免除されます。

表の「受験種類」に対応する「既得の消防設備士免状」欄は、同類の免状が除かれます。

資格証明書類として、消防設備士免状の表裏両面のコピーが必要です。

① 甲種消防設備士試験の受験者

受 験 種 類	既得の消防設備士免状	免 除 さ れ る 科 目	試験時間
甲種1～3類	甲種1～3類	消防関係法令の共通部分8問、基礎的知識全10問	2時間30分
	甲種4、5類	消防関係法令の共通部分8問	3時間
甲 種 4 類	甲種1～3又は5類	消防関係法令の共通部分8問	3時間
甲 種 5 類	甲種1～4類	消防関係法令の共通部分8問	3時間

② 乙種消防設備士試験の受験者

受験種類	既得の消防設備士免状	免 除 さ れ る 科 目	試験時間
乙種1類	乙種4～7類又は甲種1, 4, 5類	消防関係法令の共通部分6問	1時間30分
	乙種2, 3類又は甲種2, 3類	消防関係法令の共通部分6問、基礎的知識全5問	1時間15分
乙種2類	乙種4～7類又は甲種2, 4, 5類	消防関係法令の共通部分6問	1時間30分
	乙種1, 3類又は甲種1, 3類	消防関係法令の共通部分6問、基礎的知識全5問	1時間15分
乙種3類	乙種4～7類又は甲種3～5類	消防関係法令の共通部分6問	1時間30分
	乙種1, 2類又は甲種1, 2類	消防関係法令の共通部分6問、基礎的知識全5問	1時間15分
乙種4類	乙種1～3, 5, 6類又は甲種1～5類	消防関係法令の共通部分6問	1時間30分
	乙種7類	消防関係法令の共通部分6問、基礎的知識全5問	1時間15分
乙種5類	乙種1～4, 7類又は甲種1～5類	消防関係法令の共通部分6問	1時間30分
	乙種6類	消防関係法令の共通部分6問、基礎的知識全5問	1時間15分
乙種6類	乙種1～4, 7類又は甲種1～4類	消防関係法令の共通部分6問	1時間30分
	乙種5類又は甲種5類	消防関係法令の共通部分6問、基礎的知識全5問	1時間15分
乙種7類	乙種1～3, 5, 6類又は甲種1～3, 5類	消防関係法令の共通部分6問	1時間30分
	乙種4類又は甲種4類	消防関係法令の共通部分6問、基礎的知識全5問	1時間15分

（2）電気工事士（13頁の7の該当者）

***電気工事士の試験に合格しても免状を所持していない者及び認定電気工事従事者は、免除を受けられません。**

3頁「6 試験科目、問題数及び試験時間」の表中の

筆記試験の②と③のうち「電気に関する部分」が免除され、さらに

実技試験については、甲種第4類か乙種第4類を受験する場合に④の問1が免除され、

乙種第7類を受験する場合には、実技全問が免除されます。

資格の証明書類として、電気工事士免状のコピーが必要です。

（3）電気主任技術者（13頁の8の該当者）

3頁「6 試験科目、問題数及び試験時間」の表の筆記試験の②と③のうち「電気に関する部分」が免除されます。

資格の証明書類として、電気主任技術者免状のコピーが必要です。

(4) 技術士 (13 頁の 6 の該当者)

次表に掲げる技術部門に応じ、試験の指定区分の類について、3 頁「6 試験科目、問題数及び試験時間」の表の筆記試験の②と③が免除されます。

資格証明書類は、技術士第 2 次試験の合格証書又は技術士登録証のコピーが必要です。

部 門	機 械 部 門	電 気 ・ 電 子 部 門	化 学 部 門	衛 生 工 学 部 門
試験の指定区分(甲、乙共通)	第 1、2、3、5、6 類	第 4、7 類	第 2、3 類	第 1 類

【備考】上記以外の専門分野の方は、試験の一部免除はありませんが、甲種の受験資格があります。

(5) 日本消防検定協会又は指定検定機関の職員で、型式承認の試験の実施業務に 2 年以上従事した方

3 頁「6 試験科目、問題数及び試験時間」の表の筆記試験の②と③が免除されます。

資格証明書類は、型式承認試験の実施業務の従事証明書が必要です。

(6) 消防団員として 5 年以上勤務し、かつ、消防学校の教育訓練のうち専科教育の機関科を修了した方

乙種 5、6 類を受験する場合、3 頁「6 試験科目、問題数及び試験時間」の表で乙種・筆記欄の②の 5 問と実技欄④の 5 問が免除されます。

資格証明書類は、団員歴証明と教育修了証（コピー）が必要です。

9 試験の方法

筆記試験と実技試験は同一時間内に行います。

(1) 筆記試験 甲種、乙種とも 4 肢択一式で、解答はマークシートにマークします。

(2) 実技試験（甲種特類を除く）

鑑別等及び製図ともに、写真、イラスト、図面等を示した記述式で、解答を実技試験問題集の解答欄に記入します。

10 複数種類の受験

2 種類以上受験するときは、1 種類につき 1 部の受験願書を同一の封筒に入れて提出してください。

(1) 同一時間帯に複数種類の受験をする場合・・・【複数受験】

電気工事士免状の所有者で、試験の一部免除を受ける方は、甲種第 4 類と乙種第 7 類又は乙種第 4 類と乙種第 7 類のいずれかを同一時間に受験することが可能です。

(2) 試験時間帯が異なる受験をする場合・・・【併願受験】

午前に実施される 1 種類と午後に実施される 1 種類を、受験することができます。

11 申請手続

受験申請方法は、「書面申請」と「電子申請」の 2 通りがあります。

同一試験日の受験申請は、「書面申請」と「電子申請」を同時に申請できません。

(1) 書面申請手続

受 験 願 書	① 受験する種類（乙種は、類）ごとに、1 部ずつ必要です。 ② 次頁「受験願書の記入要領と記入例」をよく読んで、※印の欄以外のすべての欄を黒色のボールペンを使い正確に、よくわかる字で記入してください。
証明書類 (該当者)	① 既に消防設備士免状を持っている場合は、表裏ともコピーしたもの ② 甲種受験者は受験資格を証明する書類（12 頁以降を参照） なお、過去にいずれかの支部で甲種を受験したときの受験票(控)、又は試験結果通知書（資格判定コード欄に番号が印字されているものに限る）を提出することにより、甲種の受験資格の証明に代えることができます（コピー可）。ただし、「ガス主任技術者」の場合は第 4 類、「工事補助 5 年」の場合は添付する過去の受験票等と同じ指定区分を受験する場合に限ります。 ③ 試験の一部免除を受ける方は、資格を証明する書類（4 頁「8 試験の一部免除と申請」） *これらの証明書を願書 B 面(2 枚目)裏の所定の欄に貼ってください。

受験願書の 申請先 (郵送又は持参)	(一財) 消防試験研究センター 鳥取県支部 〒680-0011 鳥取市東町1-271 県庁第二庁舎8階
--------------------------	--

受験願書の記入要領と記入例

受験願書の記入例(かい書体は記入例で、 内は記入要領です。)

- 受験願書は、本人が書いて下さい。
- A面(1枚目)及びB面(2枚目)があり、複写式となっています。折ったり、曲げたりしない
- 黒色のボールペンを使い、「かい書」で正しく書いて下さい。
- 書き損じた場合は、横2本線を引いて、そのすぐ上に正しく書いて下さい。

左づめで記入する。外国籍の受験者は、住民基本台帳に記載されている漢字又はパスポートに記載されているアルファベット氏名を記入する。

消防設備士試験受験願書

フリガナの濁点、半濁点はマスを分ける。

B面裏の都道府県コードを参照する。(鳥取県は31)

日中連絡がとれる電話番号を記入する。

試験を受ける都道府県名

1桁の年月日は前に「0」をつけ2桁にする。

訂正は2本線を引く。

1頁「1試験日程、受験願書…」の中の受験地のいずれかを記入する。

12頁「18甲種受験の資格及び証明書類」の中の「願書資格欄の記入略称」を記入する。証明書類はB面裏側に貼付する。

なお、実務経験の証明は、B面裏側の消防用設備等実務経験証明書の様式に記入し、証明を受けた上で提出する。

3か月以内に他の都道府県で受験の申請又は受験した場合は記入する。

4頁の「8試験の一部免除と申請」を参照し○をつける。

なお、免除の資格のない方は記入しないこと。

複数の試験を受ける場合、この願書以外のもう一方の願書の受験種類を記入する。

既に免状を持っている方は、ここに全て記入すること。

また、B面裏側の「既得消防設備士免状貼付欄」に免状のコピーを貼ること。

一般財団法人 消防試験研究センター理事長 殿 都道府県名 鳥取県		申請日 令和 00 年 06 月 06 日
申請者氏名 ヤマタ シロウ	フリガナ・氏名は、氏と名に分けて、左づめで記入してください	
氏名 山田 二郎	本籍 鳥取	都道府県コード 31
生年月日 大昭和 03 年 06 月 07 日 日生	郵便番号 683-0055 必ず記入してください	
住所 鳥取県米子市富士見町1-12	自宅電話番号又は携帯電話番号 090-0000-0000	
勤務先名又は学校名	連絡先電話番号(携帯電話も可)	
試験日 令和 00 年 07 月 28 日		
試験種類 甲種 第1類		
受験地 倉吉市		
甲種受験資格 特類		
試験の免除		
技術士等の資格による試験の免除を(受ける)(受けない)		
電気工事士免状による試験の免除を(受ける)(受けない)		
電気主任技術者免状による試験の免除を(受ける)(受けない)		
消防設備士免状による試験の免除を(受ける)(受けない)		
5年以上消防団員として勤務し、かつ、専科教育の機関科を修了したことによる試験の免除を(受ける)(受けない)		
同時に複数の試験を受ける者は、この願書以外に受ける種類を記入すること		
免状取得の有無について記入してください		
免状番号 2314 3034 5678		
取得している消防設備士免状は全部記してください	元号コード(昭和3平成4令和5)	
甲1	免状交付年月日	交付番号
甲2	免状交付年月日	免状番号
甲3	免状交付年月日	免状番号
甲4	免状交付年月日	免状番号
甲5	免状交付年月日	免状番号
乙1	免状交付年月日	免状番号
乙2	免状交付年月日	免状番号
乙3	免状交付年月日	免状番号
乙4	免状交付年月日	免状番号
乙5	免状交付年月日	免状番号
乙6	免状交付年月日	免状番号
乙7	免状交付年月日	免状番号

書類等に不備があった場合の連絡手段として、メールによる連絡を希望する方はメールアドレスを記入する。(携帯電話アドレスも可)

は、当支部からのメールが届くよう、ドメイン指定受信等の設定を行うこと。

(ドメイン名)
shoubo-shiken.or.jp

(2) 電子申請手続

電子申請手続きをされる場合は、当センターのホームページをご覧ください。

<https://www.shoubo-shiken.or.jp/denshi/details.html>



【備考】① 電子申請の団体受験には、次の2種類があります。

ア 団体代表者が受験希望者の願書情報を取りまとめて入力して電子申請する（団体受験の団体受付）

イ 団体における受験者が、団体代表者の下で直接入力して電子申請する（団体受験の個別申請）

②「団体受験の団体受付」の場合は、併願受験又は複数受験の申請ができます。また、証明書類等の提出が必要な試験でも申請ができます。

③電子申請で団体受験申請をする場合は、「団体コード」、「団体確認キー」、「団体代表者キー」を入力する必要がありますので、事前に鳥取県支部にお問い合わせください。

（注）スマートフォンからも電子申請はできますが、願書情報の入力において、携帯電話会社の提供するメールアドレスやフリーメールアドレスを登録された場合は、携帯電話会社やフリーメール運営会社が行っている迷惑メール対策等により、当センターから送るメールが受信できないことがあります。

1 2 試験手数料の払込方法

試験手数料（3頁「7 試験手数料」参照）の払込方法は、申請方法別に、次の決済方法から選択できます。試験手数料とは別に、払込手数料が必要となります。（○：利用可、×：利用不可）

決済方法	書面申請	電子申請	納付場所等
イ) Pay-easy 決済	○	○	
ロ) コンビニエンスストア決済	○	○	セブンイレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、セイコーマート、デイリーヤマザキ
ハ) クレジットカード決済	○	○	VISA、MasterCard、JCB、アメリカンエクスプレス、ダイナース
ニ) スマホ決済	○	○	PayPay、メルペイ
ホ) 郵便払込取扱票	○	×	郵便局又はゆうちょ銀行

注 書面申請の場合の注意事項

・イ) ～ニ) による決済の場合（令和7年4月1日以降利用可能）

- 願書B面に記載された2次元コードを利用して決済して下さい。
- 願書とその願書に記載された2次元コードは、固有の識別番号でペアになっています。必ず、提出する願書の2次元コードを使用して下さい。決済に失敗した場合は、「郵便取扱払込票」を使用して決済するか、その願書を破棄し、新たな願書を使用し決済、申請して下さい。

【参考】願書（書面）の2次元コード

◎2次元コード経由で払込みの場合

※令和7年4月1日からご利用いただけます。

左記の2次元コードで手数料の払込みができます。



- ・2次元コードで手数料を払込む場合は、同封されている払込用紙は使用しないでください。
- ・2次元コード読み取り先の注意事項をよくお読みになり、試験日、受験地、試験種類を確認し、記入した願書情報と異なる試験を選択しないようにしてください。
- ・この願書と2次元コードは、固有の識別番号でペアになっております。必ずこの2次元コードを使用してください。

利用できる決済手段：クレジットカード、コンビニエンスストア、ペイジー、PayPay、メルペイ

決済完了番号（18桁）

※必ず決済完了番号を下欄に記入してください。

□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

決済完了番号は、必ず記載して下さい。

(2) 受験票の氏名欄は、受験者の氏名をかい書で記入してください。

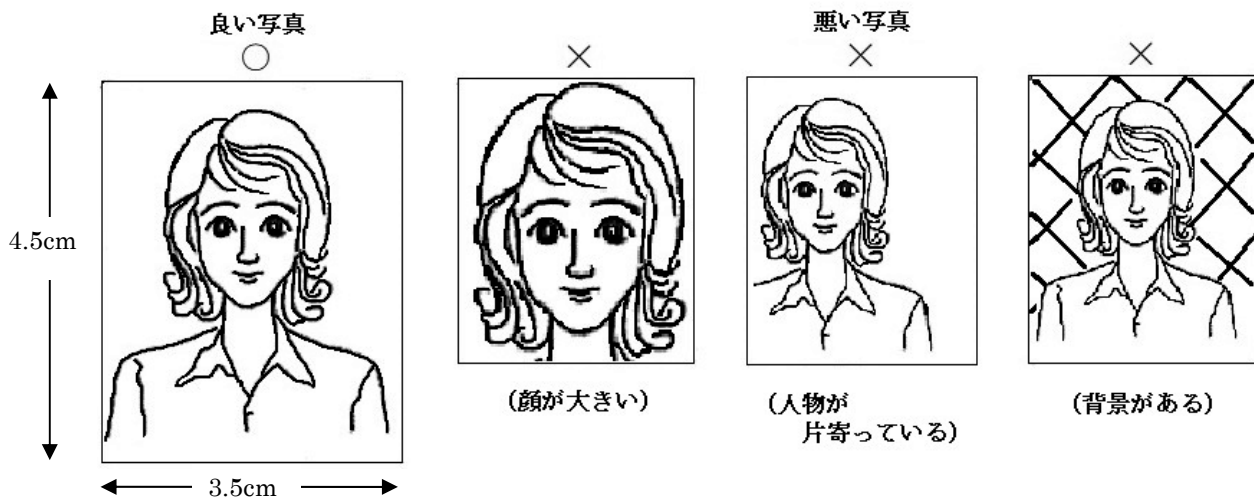
(3) 写真について（書面申請、電子申請共通）

受験日前6ヶ月以内に撮影した正面、無帽（申請者が宗教上又は医療上の理由により顔の輪郭を識別できる範囲内において頭部を布等で覆う者である場合を除く）、無背景（柄・影なし、グラデーション不可）、上三分身像の縦4.5cm、横3.5cm又はパスポート規格の大きさ、枠無しとし、鮮明なもの（裏面に撮影年月日、氏名及び年齢を記入してください）を1枚準備して、受験票にのり付けしてください（セロファンテープ不可）。

デジタルカメラで撮影されたものは、写真専用紙で印刷した鮮明なものとしてください。

※写真は受験者本人の確認及び消防設備士免状の作成に使用します。

○受験票に貼る写真の例



【書面申請用受験票】 ※受験票はイメージです。

上記(3)に示す写真をのり付け
(はがれないように)
※セロファンテープ厳禁

切り離して持参してください。

消防設備士試験 受験票(控)		消防設備士試験 受験票	
受験番号	W1-0061	試験の種類	乙種第7類
カナ氏名	セツ子 タロウ	氏名	受験者氏名を「かい書」で記入してください。
試験日時	令和〇〇年12月12日 [1/2] 9時05分集合 9時35分試験開始	試験日時	令和〇〇年12月12日 [1/2] 9時05分集合 9時35分試験開始
試験会場	〇〇〇〇試験会場 〇〇市〇〇町1-2-3	試験会場	〇〇〇〇試験会場 〇〇市〇〇町1-2-3
(試験室)	研修室	(試験室)	研修室
免除科目	免除科目なし	免除科目	免除科目なし
資格判定コード	00	資格判定コード	00
既得免状		既得免状	

100-0013
東京都千代田区
霞が関1-4-2
大同生命霞が関ビル19階
設備 太郎 様

受験票
(一財) 消防試験研究センター 鳥取県支部
〒680-0011
鳥取県鳥取市東町1-271
鳥取県庁第二庁舎8階
Tel 0857-26-8389 01189

注：記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。
受験票裏面の注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。
次の場合は受験することができません。
1 受験票がない場合
2 受験票に写真を貼っていない場合
3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
この受験票(控)は、合格発表の確認と再受験の申し込み
に必要ですので、大切に保管してください。

写真
縦4.5cm×横3.5cm
写真の裏面に氏名・年齢及び撮影年月日を記載
6ヶ月以内に撮影したもの
(正面、無帽(宗教上又は医療上の理由がある場合を除く)、無背景、上三分身像)
しっかりとのり付けしてください。(セロファンテープ不可)

1325021212102W100611 □□□
001-06-0001 01189
試験当日、この受験票は回収します。

受験者ご本人が「かい書」で記入

注意事項		消防設備士試験 受験票																																					
1 次の場合は受験することができません。 (1) 受験票がない場合 (2) 受験票に写真を貼っていない場合 (3) 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合 2 受験票に記載している集合時間までに入室してください。 3 受験票、鉛筆（B又はHB）、消しゴムを持参してください。 4 試験会場への電話の問い合わせはしないでください。 5 不正行為及び係員の指示に従わない場合は退場を命じ、失格とします。 6 本人確認のため、身分証明書（運転免許証等）の提示をお願いすることがあります。 7 電話による可否の問い合わせには、応じられません。 8 試験会場外での特定業者による試験結果通知の有料サービスは当センターと一切関係ありませんので、注意してください。 9 試験日時を変更する場合には、当センターのホームページに緊急情報又は重要なお知らせとして掲示します。 特に、気象庁が発表する特別警報等の防災情報に対処して延期等する場合の緊急情報は、試験開始時間の2時間前までに掲示します。 10 試験会場は全面禁煙です。 11 車、バイク、自転車での来場はご遠慮ください。 12 合格後の免状交付申請要領は試験当日にお知らせします。	山 折 り し て の り 付 け し て く だ さ い	写 真 縦4.5cm×横3.5cm 写真の裏面に氏名・年齢及び撮影年月日を記載 6ヶ月以内に撮影したもの (正面、無帽(宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。)、無背景、上三分身像) しっかりのり付けしてください。(セロファンテープ不可) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">受験番号</td> <td style="width: 30%;">V2-0025</td> <td style="width: 20%;">試験の種類</td> <td style="width: 30%;">乙種第6類</td> </tr> <tr> <td>カナ氏名</td> <td colspan="3">セツビ デンソ</td> </tr> <tr> <td>氏 名</td> <td colspan="3">受験者氏名を「かい書」で記入してください。</td> </tr> <tr> <td>試 験 日 時</td> <td colspan="3">令和 年12月12日 [2/2] 13時30分集合 14時00分試験開始</td> </tr> <tr> <td>試験会場</td> <td colspan="3">〇〇〇〇試験会場 〇〇市〇〇町1-2-3</td> </tr> <tr> <td>(試験室)</td> <td colspan="3">研修室</td> </tr> <tr> <td>免除科目</td> <td>免除科目なし</td> <td>資格判定 コード</td> <td>00</td> </tr> <tr> <td>既得免状</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table> 1325021212102W200259 □□□ 001-0670001 60001 試験当日、この受験票は回収します。	受験番号	V2-0025	試験の種類	乙種第6類	カナ氏名	セツビ デンソ			氏 名	受験者氏名を「かい書」で記入してください。			試 験 日 時	令和 年12月12日 [2/2] 13時30分集合 14時00分試験開始			試験会場	〇〇〇〇試験会場 〇〇市〇〇町1-2-3			(試験室)	研修室			免除科目	免除科目なし	資格判定 コード	00	既得免状								
受験番号	V2-0025	試験の種類	乙種第6類																																				
カナ氏名	セツビ デンソ																																						
氏 名	受験者氏名を「かい書」で記入してください。																																						
試 験 日 時	令和 年12月12日 [2/2] 13時30分集合 14時00分試験開始																																						
試験会場	〇〇〇〇試験会場 〇〇市〇〇町1-2-3																																						
(試験室)	研修室																																						
免除科目	免除科目なし	資格判定 コード	00																																				
既得免状																																							
切 り 取 っ て く だ さ い																																							
消防設備士試験 受験票 (控)																																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">受験番号</td> <td style="width: 30%;">V2-0025</td> <td style="width: 20%;">試験の種類</td> <td style="width: 30%;">乙種第6類</td> </tr> <tr> <td>カナ氏名</td> <td colspan="3">セツビ デンソ</td> </tr> <tr> <td>氏 名</td> <td colspan="3">設備 電子</td> </tr> <tr> <td>試 験 日 時</td> <td colspan="3">令和 年12月12日 [2/2] 13時30分集合 14時00分試験開始</td> </tr> <tr> <td>試験会場</td> <td colspan="3">〇〇〇〇試験会場 〇〇市〇〇町1-2-3</td> </tr> <tr> <td>(試験室)</td> <td colspan="3">研修室</td> </tr> <tr> <td>免除科目</td> <td>免除科目なし</td> <td>資格判定 コード</td> <td>00</td> </tr> <tr> <td>既得免状</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>受験者 現住所</td> <td colspan="3">東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル19階</td> </tr> </table> 注：記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。 注意事項をよくお読みください。 受験の際は、試験会場をご確認ください。 次の場合は受験することができません。 1 受験票がない場合 2 受験票に写真を貼っていない場合 3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合 この受験票(控)は、合格発表の確認と再受験の申し込み に必要ですので、大切に保管してください。		受験番号	V2-0025	試験の種類	乙種第6類	カナ氏名	セツビ デンソ			氏 名	設備 電子			試 験 日 時	令和 年12月12日 [2/2] 13時30分集合 14時00分試験開始			試験会場	〇〇〇〇試験会場 〇〇市〇〇町1-2-3			(試験室)	研修室			免除科目	免除科目なし	資格判定 コード	00	既得免状				受験者 現住所	東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル19階			受験者ご本人が「かい書」で記入 背中合わせ(山折り)にして、 のり付けをして下さい。 下半分は本人控用です。 切り離して、上半分だけを 試験当日持参してください。	
受験番号	V2-0025	試験の種類	乙種第6類																																				
カナ氏名	セツビ デンソ																																						
氏 名	設備 電子																																						
試 験 日 時	令和 年12月12日 [2/2] 13時30分集合 14時00分試験開始																																						
試験会場	〇〇〇〇試験会場 〇〇市〇〇町1-2-3																																						
(試験室)	研修室																																						
免除科目	免除科目なし	資格判定 コード	00																																				
既得免状																																							
受験者 現住所	東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル19階																																						

※ダウンロードした受験票をA4サイズ用紙(白色)に印刷し、上部の受験票と下部の受験票(控)を切り離してください。

上部の受験票は山折りにしてのり付けをした上、必ず写真を貼って氏名を記入して試験会場へ持参してください。

1 4 試験当日の注意事項

(1) 次の場合は、受験することができません。

- ① 受験票がない場合
- ② 受験票に写真を貼っていない又は貼付写真が不鮮明な場合

(2) 試験開始30分前までに集合し、受付を済ませ入室してください。

(3) 携行品

- ① 受験票
- ② HB又はBの鉛筆数本と消しゴム（シャープペン は 好ましくありません）

※ 鉛筆、消しゴム以外のもの（携帯電話、スマートウォッチ、計算機、下敷き、定規等）は使用を認めません。

(4) 本人確認のため、身分証明書（運転免許証、生徒証明書等）の提示をお願いすることがあります。

(5) 携帯電話、スマートフォン等は必ず電源を切り、カバン等にしまってください。

(6) 宗教上または医療上の理由により、帽子等の着用を希望される場合は、事前に当支部へご連絡ください。

1 5 合格基準

(1) 甲種特類

筆記試験において、「消防関係法令」、「工事整備対象設備等の構造、機能及び工事又は整備の方法」、「工事整備対象設備等の性能に関する火災及び防火に係る知識」の各科目ごとに40%以上で全体の出題数の60%以上の成績を修めた方を合格とします。実技試験はありません。

(2) 甲種（特類以外）及び乙種

「消防関係法令」、「機械又は電気に関する基礎知識」、「消防用設備等の構造、機能及び工事又は整備の方法」の科目ごとに40%以上で全体の出題数の60%以上、かつ、実技試験において60%以上の成績を修めた方を合格とします。

なお、試験の一部免除がある場合は、免除を受けた以外の問題で上記の成績を修めた方を合格とします。

実技試験の採点は、消防法施行規則第33条の9の規定により、筆記試験が合格基準に達した方を対象としています。 ※「試験結果通知書」には、科目ごとの正答率が記載されます。

1 6 合格発表

合格発表は、1頁「1 試験日程、受験願書の申請期間、合格発表予定日」のとおりです。

(1) 合格者の受験番号を鳥取県支部前の廊下に公示します。

(2) 受験者全員に「試験結果通知書」（圧着ハガキ）を郵送します。

（合格者の通知には、「消防設備士免状交付申請書」が付いていますので、切り離さないでください）

(3) 発表日の正午から当センターのホームページ上に合格者の受験番号を掲示します。

合格された方は、19頁「2.1 免状交付申請の手続き（合格発表後のこと）」をご覧ください。

※ 合否の問い合わせ、試験問題及びその解答に関する問い合わせには、一切応じられません。

※ 試験会場外での特定業者による試験結果通知の有料サービスは、当センターとは一切関係ありません。

1 7 その他注意事項

(1) 受理した受験願書は、お返ししません。

(2) 受験願書等の記入文字が判読できなかったり、虚偽の記載、虚偽の証明書等を提出した場合は、受験を拒否し、あるいは合格を取り消すことがあります。

(3) 受験願書を提出した後に住所・氏名等を変更した場合には、直ちに鳥取県支部へ連絡してください。

変更の連絡が無いと受験票や試験結果通知書が「宛先不明」で届きません。

(4) 宗教上または医療上の理由により、帽子等の着用を希望される場合は、事前に当支部へご連絡ください。

(5) 身体障がい等の理由により受験に際して必要な配慮（車椅子、補聴器等の使用等）を希望している場合は、受験申請前にご相談ください。なお、内容によっては、ご希望に添えない場合がありますが、あらかじめご了承ください。

18 甲種受験の資格及び証明書類

次表に示す対象者に該当する方は、甲種消防設備士試験の受験資格があります。

(1) 甲種特類

対 象 者	内 容	願書資格欄 の記入略称	証 明 書 類
甲種消防設備士 免状の交付を受けている方	甲種第1～第3類のうち1種類以上を有し、かつ 第4類及び第5類の取得者	甲 特	免状

(2) 甲種（第1～5類）

1 甲種消防設備士免状の交付を受けている方	試験科目の一部免除あり。 (受験する類と既得免状の類により異なります。) (4頁の8(1)①参照)	甲 種	免状
2 学校教育法による大学、高等専門学校(5年制)、高等学校又は中等教育学校において機械、電気、工業化学、土木又は建築に関する学科又は課程を修めて卒業した方 (当該学科又は課程を修めて同法による専門職大学の前期課程を修了した者を含む)	(1)15頁の別表1「指定学科一覧表」に示す学科を卒業した方	大卒、短大卒、高専卒、専門職了、高校卒、中等教育卒	卒業証書、学位記又は卒業証明書 (どちらも学科名が明記されたもの)
	(2)大学、短期大学、高等専門学校で、左記に掲げた学科に関する科目を15単位以上修得して卒業した方(当該科目を修めて同法による専門職大学の前期課程を修了した者を含む。)(16頁の別表2「授業科目一覧表」により算定)	大学等15単位	単位修得証明書
	(3)高等学校又は中等教育学校で、左記に掲げた学科に関する科目を8単位以上修得して卒業した方 (16頁の別表2「授業科目一覧表」により算定)	高校等卒8単位	
3 乙種消防設備士免状の交付を受けた後2年以上、工事整備対象設備等の整備の経験を有する方 (法第17条の5の規定に基づく、政令第36条の2に定めるものに限る)	消防設備士でなければ行えない工事整備対象設備等の整備の経験を有する方 (法第17条の5の規定に基づく、政令第36条の2に定めるものに限る)	整備経験2年	免状及び実務経験証明書 (基準日は試験日まで)
4 学校教育法による大学、短期大学、高等専門学校(5年制)又は専修学校に「在学中又は中途退学した者等」で、機械、電気、工業化学、土木又は建築に関する科目を15単位以上修得した方	(1)大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学又は高等専門学校で、左記に掲げた学科に関する授業科目(16頁の別表2「授業科目一覧表」)を15単位以上修得した方	大学等15単位	単位修得証明書
	(2)学校教育法第124条に定める専修学校(専門学校)で、左記に掲げた学科に関する授業科目(16頁の別表2「授業科目一覧表」)を15単位以上修得した方 ただし、単位制度のない専修学校にあっては、講義については15時間、演習については30時間、実験、実習及び実技については45時間の授業をそれぞれ1単位として15単位以上修得した方	専修学校	

5 学校教育法による「各種学校その他消防庁長官が定める学校」において機械、電気、工業化学、土木又は建築に関する科目を、講義については15時間、演習については30時間、実験、実習及び実技については45時間の授業をもってそれぞれ1単位として15単位以上修得した方 ＊(授業科目については、16頁「別表2授業科目一覧表」を参照)	(1)学校教育法第134条第1項に定める各種学校	各種学校	単位修得証明書
	(2)学校教育法による大学、短期大学及び高等専門学校(5年制)の専攻科	大学、短大、高専の専攻科	
	(3)防衛省設置法による防衛大学校及び防衛医科大学校	防衛大学校、防衛医科大学校	
	(4)職業能力開発促進法による職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校及び同短期大学校	職業能力開発総合大学校等	
	(5)職業能力開発促進法及び雇用促進事業団法の一部を改正する法律(平成9年)による改正前の職業能力開発促進法による職業能力開発大学校及び同短期大学校	職業能力開発大学校等	
	(6)職業能力開発促進法の一部を改正する法律(平成4年)による改正前の職業能力開発促進法による職業訓練大学校及び同短期大学校	職業訓練大学校等	
	(7)職業訓練法の一部を改正する法律(昭和60年)による改正前の職業訓練法による職業訓練大学校及び同短期大学校	前職業訓練大学校等	
	(8)職業能力開発促進法附則第2条による廃止前の職業訓練法(昭和33年)による職業訓練大学校	旧職業訓練大学校等	
	(9)雇用対策法(昭和41年)附則第7条による改正前の職業訓練法による中央職業訓練所	中央職業訓練所	
	(10)独立行政法人水産大学校(平成13年4月1日以前の農林水産省組織令による水産大学校(旧農林水産省組織令による水産大学校及び昭和59年7月1日以前の農林水産省設置法による水産大学を含む。))	水産大学校	
6 技術士法第4条第1項による「技術士」第2次試験に合格した方	(11)国土交通省組織令による海上保安大学校(旧運輸省組織令による海上保安大学校及び昭和59年7月1日以前の海上保安庁法による海上保安大学校を含む。)	海上保安大学校	合格証書 又は 技術士登録証
	(12)国土交通省組織令による気象大学校(旧運輸省組織令による気象大学校及び昭和59年7月1日以前の運輸省設置法による気象大学校を含む。)	気象大学校	
7 電気工事士法第2条第4項に規定する「電気工事士」(特種電気工事資格者を除く。)	(1)電気工事士免状の交付を受けている方	電気工事士	免状
	(2)電気工事士法施行規則による旧電気工事技術者検定合格証明書の所持者で電気工事士免状の交付を受けているとみなされる方		合格証明書
8 電気事業法第44条第1項に規定する第1種～第3種の「電気主任技術者免状」の交付を受けている方	(1)電気主任技術者免状の交付を受けている方	電気主任技術者	免状
	(2)電気事業法附則第7項の規定により電気主任技術者免状の交付を受けているとみなされる方(認定された学校を卒業した者に対して卒業と同時に電気主任技術者の資格を付与した制度)		認定校の卒業証明書等

9 「工事整備対象設備等の工事補助者」として、5年以上の実務経験を有する方	受験しようとする消防設備士試験の指定区分に係る消防用設備等の工事の補助の経験が必要	工事補助5年	実務経験証明書
10 その他前2から9までに掲げる者に準ずるものとして消防庁長官が定めた方	(1)次に掲げる学校において機械、電気、工業化学、土木又は建築に関する学科又は課程を修めて卒業した方。(学科名は、15頁の別表1「指定学科一覧表」による。これに該当しない場合は、16頁の別表2「授業科目一覧表」に示す科目を15単位以上修得した方) ① 外国に所在する学校で、日本における大学、短期大学、高等専門学校(5年制)又は高等学校に相当するもの。 ② 旧師範教育令による高等師範学校 ③ 旧実業学校教員養成所規程による教育養成所	大学等卒	卒業証書 又は 卒業証明書 及び 単位修得証明書
	(2)学校教育法第104条に基づき、大学又は学位授与機構により授与された、理学、工学、農学又は薬学のいずれかに相当する専攻分野の名称を付記された「修士又は博士」の学位を有する方 (外国において授与されたこれらに相当する学位を含む)	博(修)士	学位授与証明書、学位記、 修了証書又は 修了証明書 ※学位を取得していることがわかるもので、専攻分野の名称が付記されたもの
	(3)専門学校卒業程度検定試験規程による専門学校卒業程度検定試験の機械、電気、工業化学、土木、又は建築の部門に関する合格者	専検合格者	検定試験合格証明書
	(4)建設業法第27条の規定による管工事施工管理の種目に係る1級又は2級の技術検定に合格した方	管工事技士	技術検定合格 証明書
	(5)教育職員免許法により、高等学校の工業の教科について普通免許状を有する方(旧教員免許令を含む)	教員免許状	免許状
	(6)電波法第41条の規定により無線従事者の資格の免許を受けている方(アマチュア無線技士を除く)	無線従事者	免許証
	(7)建築士法第2条に規定する1級建築士又は2級建築士	建築士	免許証又は1級 もしくは2級建築 士免許証明書
	(8)職業能力開発促進法第44条(旧職業訓練法第66条)の規定による配管の職種に係わる1級又は2級の試験に合格した方	配管技能士	技術検定合格証書
	(9)ガス事業法第32条の規定によるガス主任技術者免状の交付を受けている方(第4類の消防設備士の受験に限る)	ガス主任技術者	免状
	(10)水道法第25条の5の規定による給水装置工事主任技術者免状の交付を受けている方(旧法の資格者を含む)	給水技術者	免状 又は 登録証

10 その他前2から9までに掲げる者に準ずるものとして消防庁長官が定めた方	(11)消防行政に係る事務のうち、消防用設備等に関する事務について3年以上の実務経験を有する方	消防行政3年	実務経験証明書
	(12)消防法施行規則の一部を改正する省令の施行前(昭和41年4月21日)において、消防用設備等の工事について3年以上の実務経験を有する方	省令前3年	実務経験証明書
	(13)昭和41年10月1日前の東京都火災予防条例による旧制度の消防設備士	条例設備士	免状

【備考】

- ①単位修得証明書又は科目履修証明書は、必ず単位数又は授業時間数が明記されたものを提出してください。
- ②4の大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校、大学院、専門職大学院等における修得単位は、卒業、在学中、中退、又は専攻科、通信教育等に関係なく、通算して算定できます。
放送大学も通算して算定できます。(大学等で発行する「単位修得証明書」による。)
- ③「願書資格欄記入略称」は、受験願書の「甲種受験資格」欄に記入するものです。
証明書類として過去の受験票等を使用する場合も、受験資格の略称は必ず記載してください。
- ④証明書類の中で※網掛けしてある書類は、コピー(縮小可)し、受験願書裏面の各種証明書等貼付欄へのり付けてください。その他の証明書類もコピーでも提出できます。
- ⑤表の3,9及び10-(11),(12)の「実務経験証明書」は、事業主等の証明書です。書面申請の場合、受験願書B面(2枚目)裏の様式を、電子申請の場合、消防設備等 実務経験証明書で様式を web 検索して使用してください。
- ⑥旧制大学、旧制専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所の卒業者及び旧制専門学校卒業程度検定試験合格者も同様の資格があります。詳細はお問い合わせください。

【別表1】

指 定 学 科 一 覧 表 (例示)

次の「学科」を修めて卒業した方は、「卒業証明書(コピー可)」又は「卒業証書(コピー可)」の提出で受験できます。

	大学、短期大学、高等専門学校、旧制の大学、旧制の専門学校の卒業者用	高等学校、中等教育学校、旧制の中等学校の卒業者用
ア	安全工学科	
エ	衛生工学科 エネルギー(機械)工学科	
オ	応用化学科 応用機械工学科 応用理化学科	
カ	開発工学科 海洋建築工学科 海洋土木工学科 環境計画工学科 環境工学科 環境整備工学科 化学環境工学科 化学工学科 画像工学科	開発機械科 化学科 化学工学科 化学工業科 環境工学科 環境土木科
キ	機械工学科 機械システム工学科 機械理学科 機器工学科 基礎工学科 機能機械学科 金属工学科	機械技術科 機械工学科 機械工作科 機械システム科 機械製図科 機関科 金属工業科
ケ	計測工学科 建設工学科 建築工学科 建築工芸学科 原動機科	計測科 建設科 建設技術科 建設工業科 建設システム科 建築科 建築土木科 原動機科
コ	工業化学科 高分子工学科 交通工学科 光電工学科 構造工学科 構築工学科 合成化学工学科	工業科 工業化学科 工業管理科 工業技術科 高分子工学科 航空車両整備科
サ	産業機械工学科 材料工学科	材料技術科 材料システム科 産業技術科
シ	資源開発工学科 資源循環工学科 社会開発工学科 情報処理工学科 情報工学科	自動制御科 情報技術科 情報システム科 情報電子科 情報通信科
ス	水土木学科	水産工学科
セ	制御機械工学科 制御工学科 生産工学科 生産精密工学科 精密工学科 石油化学科 設備工学科 繊維工学科 繊維システム工学科 船舶機関工学科	制御機械科 生産機械科 精密機械科 設備科 セラミック科 繊維工学科
ソ	造船学科	総合技術科 造船科
チ		地質工学科
ツ	通信工学科 通信材料工学科	通信工業科 通信工学科

テ	鉄鋼冶金学科 電気機械工学科 電気工学科 電気電子システム工学科 電機工学科 電子工学科 電子電気工学科 電子物性工学科 電子理学科 電波通信学科	電気科 電気工事科 電気電子科 電子科 電子機械科 電子工業科 電波科
ト	都市工学科 土木工学科 動力機械工学科	都市工学科 土木科 土木建築科
ネ	燃料化学科 燃料工学科	
ノ	農業機械学科 農業土木工学科	農業機械科 農業工学科 農業土木科
ハ	船用機械工学科 船用機関科 反応化学科	
フ	物質化学工学科 物質工学科	
ム		無線通信科
ヤ		冶金科
ユ	有機材料工学科	
ヨ	溶接工学科	窯業科

《注》①「工学科」「学科」「技術」「科」などの文字の有無により学科名の異なるものは、同学科名として取り扱うものとします。

②上記の指定学科には組み合わせたものも含まれます。

(例) 機械工学→交通機械 農業機械 機械システム 機械制御 機械材料等

③上記の名称を含む学科であっても、明らかに「機械、電気、工業化学、土木又は建築に関する分野」と認められないものは除きます。

④指定学科一覧表は一部であり、すべてではありません。詳細は鳥取県支部に照会してください。

【別表2】 授 業 科 目 一 覧 表 (例示)

次の名称が含まれる授業科目は、原則として「機械、電気、工業化学、土木又は建築に関する分野と認められる授業科目」として扱います。

	大学、短期大学、高等専門学校、旧制の大学又は旧制の専門学校の卒業者用	高等学校、中等教育学校又は旧制の中等学校の卒業者用
ア	アナログ電子回路 圧縮性流水 油空圧工学	
イ	移動工学 一般構造(土木系・建築系のみ)	インテリア装備 意匠製図
ウ	運輸施設工学	
エ	衛生工学 エネルギー工学 エンジン流体力学	衛生・防災設備 衛生設備
オ	応用化学 音響学 オプトエレクトロニクス	応用力学 織物機械
カ	ガスタービン 化学工学 火災工学 加工機械学 加工冶金学 河川工学 架橋力学 画像工学 回路理論 過渡現象論 海岸工学 海洋建築 開発機械学 完全流体力学 岩石力学 岩盤力学 環境関係(土木系・建築系のみ)	化学工学 化学工業一般 化学工場 化学装置 化学反応 環境工学
キ	CAD/CAM 気体力学 機械工学 機械製作 金属材料学 機械要素 機器制御 機器分析 機構学 機素動力学 機電変換工学 機能材料 強度設計学 給排水設備 橋梁工学 擬固加工学 基礎工学・基礎構造(土木系・建築系のみ)	機械一般 機械製作 機械・電気 機関乗船実習 金属加工 金属材料 漁船機関
ク	空気力学 空港工学 空調設備 掘削機械学	空気調和設備
ケ	系統工学 計測工学 珪酸塩工業化学 結晶塑性学 建設機械 建築力学 建築材料 建築設備 建築防災 原動機学 現代制御論 現代無機工業化学	計測回路 計測・制御 建築一般 建築構造 原動機 建築測量 原子工学一般
コ	コンクリート工学 固体力学 工業化学 工業計測 工業地質学 工業分析 工作機械 交通工学 光学 航空工学 航空材料学 高温化学 高周波工学 交流理論 高電圧工学 高度加工技術 高分子化学 港湾工学 構造工学 合成化学	工業一般 工業数理 工業化学 工業基礎 工業材料 工業分析 工芸材料力学 鉱山機械

サ	作業システム工学 砂防工学 材料学 材料力学 錯体触媒化学 産業機械	材料加工 材料技術基礎 材料製造技術 材料施工
シ	システム工学 ジェット機関 資源システム工学 地震工学 地盤工学 自動化設計 自動車工学 磁気工学 実験計測法 写真測量 車輛工学 集積回路工学 潤滑工学 商船設計 焼結工学 消防設備 照明工学 触媒化学 上下水道工学 情報工学 蒸気タービン 信号処理論 振動学	色染化学 自動車工学 自動制御 情報技術 食品化学
ス	スイッチング回路理論 水工学 水産土木工学 水質工学 水道工学 水理学 水力発電所 水路工学 数値制御システム工学 数値熱流体力学	水工 水産工学 水道 水利 水理
セ	セラミック化学 センサ工学 施工法 生合成化学 生産工学 生物化学 生体高分子 生物有機化学 制御機器 制御工学 精密加工学 製造化学 石炭工学 石油化学 切削工学 接合工学 設計工学 設備工学 船体構造工学 船舶工学 線形回路 繊維化学 繊維高分子工学	生産実習 製造機器 設備計画 設備・管理 セメント 染色 セラミック技術 船舶構造 船舶設計
ソ	塑性工学 送電 送配電工学 造船製図 装置工学 測量学	造船工学 造船実習 測量
タ	ダム工学 耐震工学 耐震耐風工学 単位操作 炭化水素化学 弾塑性力学 暖房設備	
チ	地質学 鑄造学 超音波工学 超電(伝)導工学 直流機器	地下資源開発 地質工学
ツ	通信工学 通信機器 通信網工学	通信工学 通信機器 通信技術
テ	データ通信 デジタル回路 鉄筋コンクリート工学 鉄鋼材料学 鉄骨工学 鉄道工学 天然物合成化学 伝送工学 伝熱工学 電気工学 電気音響 電気機器 電気設備 電気計測 電気鉄道 電気法規 電子工学 電子装置 電子デバイス 電子要素 電子回路 電磁気学 電磁波伝送 電熱工学 電波工学 電力工学 電力系統	電気工学 電気化学 電気工事 電子工学 電子機器 電子計測 電力設備
ト	トラクタ実習 都市環境 都市工学 都市設備学 土質工学 土木工学 動力工学 道路工学 導電材料 特殊材料学 特殊鋼学	特殊材料 土質 土質力学 土木一般 土木施工 都市工学
ナ	内燃機関 軟弱地盤工学	
ニ	荷役機械	
ネ	熱工学 熱機関 熱流体力学 熱力学 粘性 燃焼工学 燃料合成化学 燃料分析化学	
ノ	能動回路 農業機械工学 農業土木学 農業揚水機 農用トラック工学 農用内燃機関学	農業機械 農業水利 農業土木設計
ハ	パルス回路 波動振動 破壊力学 配電工学 発電電工学 鋼構造 船用機関 発電工学 反応工学 半導体	発送配電 ハードウェア技術 船用機関 船用電気
ヒ	ピーエスコンクリート工学 非金属材料 光工学 光エレクトロニクス 光通信工学 光情報工学	
フ	ファインケミカル工業化学 プラズマ工学 物質強度学 プラント工学 プレストレストコンクリート工学 プロセス工学 浮体静水力学 分析化学 物理有機化学 分離精錬工学	船用機関 船用電気
ヘ	平面及び曲面構造論 変電所	
ホ	ボイラー工学 放電工学 防災工学 防災設備	放射化学 ボイラー
マ	マイクロデバイス マイクロ波工学	
ミ	水資源工学	
ム	無機化学 無機合成 無機工業材料 無線	無線工学 無機工業化学
メ	メカトロニクス	
モ		木工機械
ヤ	冶金工学	や金一般 や金実習

ユ	油圧工学 輸送機械 誘電材料 有機化学 有機機能材料 有機量子化学 有機構造 有機合成学 有機反応 有線機器学	有機工業化学
ヨ	溶接工学 溶接機器 溶接設計 溶接冶金学	溶接 窯業 窯炉・燃料
リ	利水工学 理論有機化学 流体力学 流体工学 流体回路 量子エレクトロニクス 量子電子工学	林業土木 林業機械
レ	連続体力学 冷凍工学	冷蔵・冷凍
ロ	ロボット工学 ロボティクス 論理回路	炉・燃料

《注》①「工学」「学」「技術」等の文字の有無により科目名の異なるものは、同科目名として取扱うものとします。

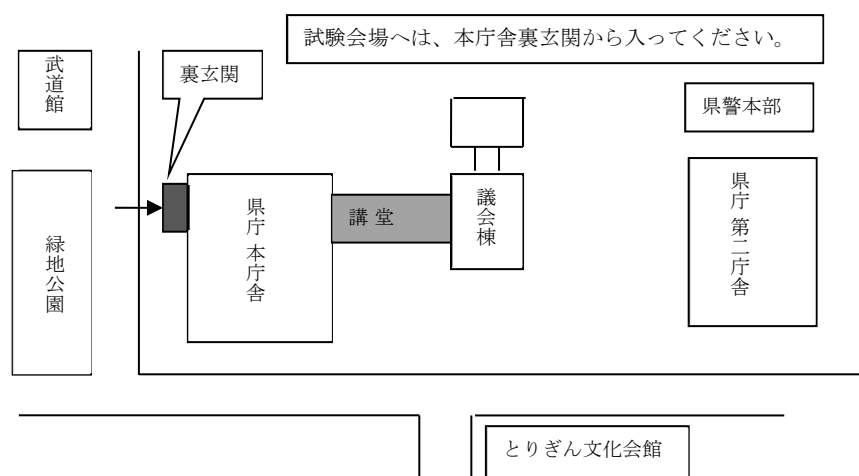
②上記の授業科目には、一部の関連科目も含まれます（認められない科目もあります）。

（例）機械工学→機械システム設計 機械振動学 機械構造力学 機械材料学等

③上記の名称を含む授業科目であっても、明らかに「機械、電気、工業化学、土木又は建築に関する分野」と認められないものは除きます。

④授業科目一覧表は一部を掲載しています。詳細は鳥取県支部へお問い合わせください。

19 鳥取県庁会場付近案内図（出入口）



20 個人情報の取り扱いについて

当センターは、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、取得した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

（1）当センターの個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

① 個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先、学校名、職業、顔写真、メールアドレス等です。

② 利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

（2）当センターは、利用目的を達成のため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し適切に取り扱います。

2 1 免状交付申請の手続き（合格発表後のこと）

試験に合格された方は、なるべく試験結果通知書に記載された指定期日（合格発表から約２週間後）までに下表の書類を鳥取県支部へ郵送又は持参し、免状の交付申請をしてください。

なお、指定期日を経過した後も受付します。

免状の交付は、「消防設備士免状交付申請書」を受理した後、約2週間後になります。

免状申請に必要な書類は下表のとおりです。

提出する書類	注 意 事 項
「消防設備士免状交付申請書」 (試験結果通知書と切り離さないもの)	・申請書にあらかじめ記載してある内容に間違いがないか確かめ、必ず申請者の氏名、電話番号を記入すること。<u>内容が間違っている場合は、赤字でよくわかるように訂正してください。</u> ・申請手数料は新規交付申請用納付書(2,900 円)を使って指定金融機関やコンビニエンスストアで支払い、右端の領収印が押してある「納税証明書<納付済証>」を免状交付申請書の裏面にのり付けしてください。 ・納付書は合格者に鳥取県消防防災課から送付されます。
既 得 免 状	既に消防設備士免状を有している方は、その免状を必ず提出してください。 ※提出がないと新免状の交付はできません。 免状をなくされた方は、別途、再交付申請(手数料 1,900 円)が必要となります。 氏名、本籍に変更のある方は、別途書換申請が必要です。 ※再交付、変更による書換の手続きが完了しないと免状の交付ができません。
新免状送付用封筒	出来上がった免状の郵送を希望するときは・・・ ・定形封筒(9 cm×20.5 cmから 12 cm×23.5 cmまでのもの)に自宅又は勤務先等の確実に受け取れる場所を送付先とし、郵便番号、住所、氏名を書き簡易書留郵便料(460円分)の切手を貼ってください。 ・封筒の裏に受験番号を記載してください。
旧姓がわかる公的機関が発行した書類 (戸籍抄本、住民票等)	免状に旧姓併記を希望する場合は、申請する支部にお問い合わせください。

【新規交付申請用納付書(2,900 円)：縮小見本】

[illegible]

(公)		納付書	
加	入者名	鳥取県	
口	座番号	01480-0-960800	
納	付番号	000000000000000000000000	
付	番番号	000000	
金	額	2,900円	
☐ 納税人 署名欄			
納	入者名	危険物取扱者・消防防災士免状 新規交付申請書	
所	属名	消防防災課	
入	期限	令和○年3月31日	
別	シスデム	00	
区	要式	令和○年度 危険物取扱者・消防防災 士免状 新規交付 申請手数料(4連) 令和○年度	
コ			
ニ			
ス			
ト			
ア			
ナ			
ノ			
ハ			
ヘ			
ホ			
ロ			
ケ			
コ			
サ			
セ			
ソ			
タ			
チ			
ツ			
テ			
ト			
ニ			
ホ			
ニ			
ス			
ト			
ア			
ナ			
ノ			
ハ			
ヘ			
ホ			
ロ			
ケ			
コ			
サ			
セ			
ソ			
タ			
チ			
ツ			
テ			
ト			
ニ			
ホ			
ニ			
ス			
ト			
ア			
ナ			
ノ			
ハ			
ヘ			
ホ			
ロ			
ケ			
コ			
サ			
セ			
ソ			
タ			
チ			
ツ			
テ			
ト			
ニ			
ホ			
ニ			
ス			
ト			
ア			
ナ			
ノ			
ハ			
ヘ			
ホ			
ロ			
ケ			
コ			
サ			
セ			
ソ			
タ			
チ			
ツ			
テ			
ト			
ニ			
ホ			
ニ			
ス			
ト			
ア			
ナ			
ノ			
ハ			
ヘ			
ホ			
ロ			
ケ			
コ			
サ			
セ			
ソ			
タ			
チ			
ツ			
テ			
ト			
ニ			
ホ			
ニ			
ス			
ト			
ア			
ナ			
ノ			
ハ			
ヘ			
ホ			
ロ			
ケ			
コ			
サ			
セ			
ソ			
タ			
チ			
ツ			
テ			
ト			
ニ			

公 領収証書	
加 入 者 名	鳥取県
口 座 番 号	01480-0-860080
納 付 番 号	0000000000000000000000
納 付 書 番 号	00000
金 額	2,900円
納 入 者 氏 名	鳥取県取次者・消防設備主免状 都府県交付申請書者
所 属 名	消防防災課
納 入 期 限	令和〇年〇月〇日
備 考	令和〇年度 鳥取県取次者・消防 設備主免状 新規交付 申請手数料 (4通式) 令和〇年度
収納代行業者名	CNS
上記の金額を領せしめたい。	
領収日付印 領 収 〇 〇 〇 〇	
(納付場所鳥取県税) 収入印紙等(納付書併用)	

納税証明書 ＜納付済証＞		
納 付 番 号	書 号	00000
金 額	帳	2,900円
所 属 名	消防防災課	
備 考	令和○年度 危険物取扱者 消防士補免状 新規交付 申 請手数料(4連式) 令和○年度	

※鳥取県提出用です。
 ※再発行はできませんので紛失しないよう大切に保管してください。

領収日付印



納付金 〇〇〇円

納税証明書＜納付済証＞を免状交付申請書にのり付け

受験願書作成のチェック

○	チェック項目
	試験手数料は正しい金額を振り込みましたか。
	払込用紙の場合「振替払込受付証明書(お客さま用)」(赤枠で囲んである部分)を貼りましたか。 2次元コードの場合「決済完了番号」を記入しましたか。
	受験資格又は科目免除を受けるための、資格を証明する書類等を添付しましたか。
	消防設備士免状の交付を受けている方、その免状のコピーを添付しましたか。
	各種資格をお持ちの方は、科目免除を「受ける」又は「受けない」のいずれかに○をしましたか。
	試験日、試験種類、受験地を確認しましたか。

☆☆ よく確認してから提出してください。 ☆☆

《 問い合わせ先 》

(1) 受験に関すること

一般財団法人 消防試験研究センター 鳥取県支部

電 話 0857-26-8389

受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日、年末年始を除く)

ホームページアドレス <https://www.shoubo-shiken.or.jp/branch/31tottori/>



(2) 電子申請に関すること

電子申請に関するトラブル等の問い合わせは下記までお願いします。

一般財団法人 消防試験研究センター 電子申請室

専用電話(全国共通) 0570-07-1000 (有料)

受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日、年末年始を除く)

◎事故等により会場や日程を変更する場合には、緊急情報としてホームページに掲載します。

特に、気象庁が発表する特別警報等の防災情報に対処して試験日時を変更する場合の緊急情報は、試験開始時間の2時間前までに掲載します。

※ 一般財団法人 消防試験研究センターは、試験実施機関であり、受験準備の講習会や参考書等の出版・斡旋等は、一切行っておりません。

○ 受験願書、免状交付申請書等を送付する際、宛名ラベルとしてご利用ください。



キリトリ✂

〒680-0011

鳥取市東町1-271

鳥取県庁第二庁舎 8階

一般財団法人

消防試験研究センター鳥取県支部 行



キリトリ✂

〒680-0011

鳥取市東町1-271

鳥取県庁第二庁舎 8階

一般財団法人

消防試験研究センター鳥取県支部 行